

第8回U-16山梨プログラミングコンテスト2025



開催報告

○2025年12月14日(日)
○山梨県立甲府工業高等学校 専攻科



実行委員長 手塚 幸樹 様

今年も山梨県立甲府工業高等学校専攻科を会場に、『第8回U-16山梨プログラミングコンテスト2025』が開催されました。U-16プログラミングコンテストは、旭川からスタートした、パソコンやプログラミングに興味のある16歳以下の児童生徒(高校生・中学生・小学生)を対象としたコンテストで、ITへの関心を深め、将来のITエンジニア育成につなげることを目的に日本各地で開催されています。本コンテストは、参加者が作成したプログラム同士を戦わせる「競技部門」と、デジタル作品を審査員が評価する「作品部門」の2部門で構成されています。作品部門では一次審査方式を採用し、通過した10名が最終審査に進み、作品紹介を行いました。当日は競技部門と作品部門ともに熱戦が繰り広げられ、両部門とも無事に終了することができました。一部ではありますが、当日の様子をぜひご覧ください。

競技部門 参加者 6名(高校生0名、中学生4名、小学生2名)

競技部門では、対戦型ゲームプラットフォーム「CHaser」上で参加者が作成したプログラム同士を対戦させ、勝敗および獲得点数を競いました。参加者が長時間かけて開発したプログラム同士の対戦は非常に拮抗しており、1回の対戦では決着がつかず、マップを変更して再戦を行うなど、手に汗握る接戦が繰り広げられました。競技は参加者6名による予選リーグの後、上位者による決勝トーナメントを実施し、その結果、吉田さんが優勝されました。



結果発表 優勝：中学2年生の吉田伶一さん 準優勝：中学2年生の加賀美真桜さん

BCN AWARD 2026表彰式

作品部門 最終審査 参加者 10名(高校生0名、中学生5名、小学生5名)

作品部門は、コンピュータグラフィックス(静止画・動画・アニメーション)、Webページ、自作プログラムなど、自由に制作したデジタル作品を審査員が評価する部門です。一次審査を通過した10名が当日にプレゼンテーションを行い、短時間で作品の紹介を行った後、審査員による質疑応答が実施されました。自作のシューティングゲームやRPG、クレーンゲームなど、参加者全員が工夫を凝らし、それぞれのこだわりが感じられる作品が提出されました。その結果、青柳さんが金賞を受賞されました。



結果発表 金賞：中学3年生の青柳篤司さん(笛川e-スポーツ)
銀賞：小学6年生の青柳侑さん(ミニゲームパーク)
銅賞：中学1年生の森澤宏太郎さん 審査員特別賞：中学1年生の塩田想也さん

BCN AWARD 2026表彰式

■ 競技部門優勝の吉田さんと作品部門金賞の青柳さんは、2026年1月23日に開催される「BCN AWARD 2026 / BCN ITジュニア賞 2026」のBCN ITジュニア U16賞で表彰されました。尚、同時開催で第3回CHaser全国交流大会が開催され、競技部門の山梨大会で優勝した吉田さんが出場しました。

- 主催：U-16山梨プログラミングコンテスト実行委員会
事務局 NPO法人山梨ICT&コンタクト支援センター
共催：山梨県高等学校教育研究会工業教育部会
後援：経済産業省関東経済産業局、山梨県、山梨県教育委員会、甲府市、甲府市教育委員会、甲斐市教育委員会、笛吹市教育委員会、北杜市教育委員会、甲府商工会議所、NPO法人ITジュニア育成交流協会、山梨大学、山梨県立大学、山梨英和大学、山梨学院大学、サンテクノカレッジ、山梨放送、山梨日日新聞、テレビ山梨、エフエム富士
協賛：株式会社大塚商会、株式会社オービックビジネスコンサルタント、株式会社シー・シー・ダブル、DynaBook株式会社、ダイワボウ情報システム株式会社、トレンドマイクロ株式会社、株式会社バッファロー、ピー・シー・エー株式会社、株式会社フォーラムエイト、レノボ・ジャパン合同会社

